



大すき汐入

がっこう
5月号

みんなで話すと「ちむどんどん」する

がっこうちょう おくろ ゆうこ
学校長 小黒 裕子

しおいりしょうがっこう がつ ちゅうじゆん みこと さ ほこ
汐入小学校の藤が4月の中旬に見事に咲き誇っていました。今は校庭や歩道には色鮮やかなつつじが目に留まります。いつも、さくら 最後の花は咲いているかなと思いつつながら、桜の下を通っていましたが、いよいよ昨朝の雨で全部散ってしまいました。一本の木でも一番に咲く花もあれば、何日もたって最後に咲く花もあります。最後に咲いた花も緑の葉っぱに埋もれているのですが、咲くのを待っていたよと心の中で声をかけてあげます。

きょうしつ こども おなじ いちばん お こ さいご お こ すべ
教室の子どもも同じではないでしょうか。一番に終わる子、最後に終わる子もいます。全ての場面や状況で、その時間その日に何かを成し遂げられるとは限りません。せかしてもできないこともあります。そんな時はそっと見守り、そっと待っていて、できたときはみんなで大いに喜びたいものです。

つぎ ねんどはじ しおいりしょうがっこう こ おぼ
さて次は、年度初めに話した汐入小学校の子どもたちに覚えてほしい「あいうえお」についてです。

4がつ 6ねんせい せんせい ちいき かと
「あ」はあいさつです。4月の6年生は、「先生や地域の方にはっきりとていねいにあいさつをする」ことを目標にして、実践していました。礼儀正しく元気なあいさつが学校中やまち中に広がって、みんなが「汐入スマイル」になっていくことを願っています。

はなし ころなか がくしゅう ちか ちようじかん はな
「お」は、「お話をしよう」です。コロナ禍での学習では近づいて長時間は話すことはできませんが、話しかかり合って学びを深めていきます。教室では、グループやペアで話す活動では、友達の考えを直接聞き、すぐに感想や質問を返していました。学級の話し合いでもスポーツフェスティバルの応援グッズをペットボトルマラカスと応援うちわのどちらにするかを決めていました。それを使う場面を想像しながら、友達を説得できるよう理由をしっかりと述べていました。最後に決まった案を司会が改めて発表すると拍手が起きました。みんなで意見交換をすることで集団が高まっていくのが実感できます。お話をして高まっているのは、子どもたちだけではありません。

せんせい せんじつ じゆうてんけんきゅうかい こんねんどじゆうてんてき とりくむせいかつか
先生たちもがんばっています。先日、「重点研究会」で今年度重点的に取り組む生活科、総合的な学習について講師をお招きして校内研修会を行いました。グループでどんな単元内容が考えられるのか、それにはこんな内容の広がりがある、こんな進め方はどうだろうと様々な意見を出していました。研修会の後もお話は止まらず、職員室で続きの話をしている先生もいました。お話をすると楽しくてうきうきしたり、面白そうでわくわくしたりします。横浜プロジェクト実行委員会で鶴見のまちを盛り上げていく取組「ちむどんどん（胸がわくわくする気持ち）するまち 横浜鶴見」になぞらえると、先生たちは「みんなで話すとちむどんどんする」という気持ちでいました。子どもたちに「ちむどんどん」がつながる5月からの学校も楽しみです。